

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の基礎学力を充実・定着させ、学科併置の特色をいかし、磨き合う学習活動の工夫・改善に取組む。 ②国際化、6次産業化を視野に入れた教育課程の充実を図る。	①生徒の基礎学力を充実・定着させるための学習活動の工夫や改善に取組む。 ②農業科、商業科のそれぞれの強みをいかした授業展開を模索する。	①朝学習の教材や指導方法を工夫する。また、学習活動の充実・改善に向けた相互授業見学の実施、職員研修やICT利活用を推進する。 ②国際化や6次産業化を視野に入れた各科の特色をいかした授業を展開し、各科が連携した取組を行う。	①授業改善のための研修を年3回以上実施できたか。 ①生徒による授業評価で授業のあり方や学習状況について改善が見られたか。 ②施設設備を活用し、各学科の特色をいかした効果的な内容の取組ができたか。					
2	生徒指導・支援	①生徒が安全・安心に学校生活を送るための指導を充実させ、生徒自らが主体的に行動し、新たな社会的課題に対応できる人材の育成を図る。 ②責任感や連帯感の醸成と達成感が得られるよう生徒主体の活動を充実させる。	①生徒が抱える不安や悩みについて、情報共有を行い早期に対応できる組織的な体制を構築する。 ②学校生活のあるゆる場面で生徒が自主的・積極的に活動できるような指導体制を構築する。 ②農商メディアセンターを生徒が安心して過ごせる居場所及び授業において調査・探究できる施設として整備していく。	①生徒の不安感を取り除くためのアンケートを実施し、一人ひとりに寄り添った指導を行う。 ①各種活動が効率的に進められるように指導体制を整備する。 ②生徒が積極的に活動できる環境整備と意識改革を図る。 ②農商メディアセンターを居心地のよい場所として整備し、様々なデータを利用者が使いやすいようにサイト集としてまとめる。	①不安を抱える生徒について、職員一人ひとりが適切な対応を行うことができたか。 ①生徒が学校生活で安心感を持てる状況を作り上げることができたか。 ②部活動の登録状況と実績。委員会の活動実績。 ②各種行事運営等で生徒が連携して積極的に活動することができたか。 ②利用冊数、来館者数、授業での活用数を前年度以上とすることができたか。					
3	進路指導・支援	①社会の動向に柔軟に対応できる産業人として、産業構造の変化や社会のニーズ等に対応した人物育成を推進する。 ②キャリア教育	①地域社会からの期待に応え、様々な産業においてしなやかに活躍する人材の育成を図る。 ②専門的な学習を通して身に着けた知識・技術	①進路支援体制の充実を図るとともに、日常的なビジネスマナー教育をより一層推進し、社会人に求められる基礎的な力を育む。 ②高校での学習活	①進路相談体制や進路学習会等の充実が図られたか。 ①社会で必要とされる基本的なビジネスマナーを身に付けさせることができたか。 ②日常の学習や資					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		の充実を図り、高い専門性を持つスペシャリストを育成する。	をいかしなが ら、社会に貢献 しようとする意 欲と態度を身に 付けたスペシャ リストを育成す る。	動と実社会にお ける職業生活と のつながりにつ いて考えさせ、 見通しを持ち 主体的に学習に 取組むよう支 援する。	格取得への取組 み等を通じ、専 門分野に関する 実践的な知識・ 技術の定着が実 現できているか。					
4	地域等との協働	①農業科や商業科の専門教育活動について積極的に地域に広報し、PRするとともに、魅力ある学校づくりを推進する。 ②農業科、商業科それぞれの高い専門性の知識と技術をいかしつつ、社会に貢献することができる生徒を育成する。	①農業科・商業科における専門的学びの魅力を広く発信し、PRしていく。 ②地域協働や産学官連携等、様々な取組を行い、地域の特性を生かした学校づくりを推進する。	①学校PRの機会拡大と、内容充実を図り、本校の魅力を広く伝えていく。 ②地域の幼少中学校や地域団体との連携(見学・体験学習・企画参加等)を深め、地域から求められる学校を目指す。	①学校説明会の依頼実績、学校説明会・体験入学等の参加率やアンケート集計内容等の実績。 ②地域からの依頼実績や協働の機会拡大に努められたか。					
5	学校管理 学校運営	①信頼と期待に応える学校づくりを推進するため、事故・不祥事防止を徹底し、教職員の意識醸成や校内環境及び組織体制の整備をする。 ②安心して快適な教育環境の整備のため、生徒と向き合う時間を確保するための教員の働き方改革の実現と、組織的・計画的な学校安全管理を推進する	①定期的な不祥事防止研修会を実施し、教職員の危機管理意識を高める。 ②ICTを活用した校務の効率化と勤務時間を意識した業務や会議内容を精選する。 ③災害特性を踏まえた避難訓練及び危機管理マニュアルに基づいたチェック体制を着実に実施する。	①不祥事防止研修会等を計画的に実施し、情報共有する。また、報告・連絡・相談を円滑に行い、不祥事防止に努める。 ②職員一人ひとりが勤務時間を意識するとともに、校務の効率化を図る。 ③生徒・職員対象のDIG研修や計画的な防災避難訓練を実施する。	①事故・不祥事数ゼロを達成したか。 ②勤務時間後の退勤を促すとともに、自己研鑽や教材研究に向けた時間を確保することができたか。 ③生徒・職員対象の災害特性を踏まえたDIG研修や計画的な防災避難訓練の実施により、防災意識を高めることができたか。					